

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区港南 4-7-37 港区港南緑水公園内
園名	ミアヘルサ保育園ゆらりん港南緑水

1 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

公園内に隣接している保育園なので、自然との触れ合いに着目し「自然物」の特徴を探求する。

2 活動スケジュール

5月19日 プランターにスナップエンドウの種と茄子の苗植えを行う。

5月～7月 クラスで水やり当番を決め、毎日朝か夕方時間に水やりを行いながら、茄子の生長を確認する時間を作る。

7月9日 実った茄子の収穫を行う。それぞれ収穫した茄子を持って給食室に向かい、給食の職員に渡して、お昼ご飯で茄子を使ってもらうようお願いをする。
実際に食べてみて、自分たちで育てた茄子を味わってみる。

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・プランター、肥料土、茄子の苗、スナップエンドウの種、水やり用の如雨露、ハサミ

4 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・種や苗の形、色を観察しながら、どのように生長するのかイメージが持てるように声掛けを行った。また、水やりを当番制で行うことで植物、食べ物を自分で育てるという意識や大切に作る心が育まれるようにした。
- ・育てた野菜を収穫して、喜びを子供たちで共有できるようにした。自分で育てたという過程の上で、食べることへの意欲へと繋げた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・スナップエンドウの種や茄子の苗を見て、その様子を観察しながら、育ったときの様子を想像していた。「どんな形になるかな?」「スナップエンドウはおいしいの?」と疑問に思ったことを保育者に聞いていた。
- ・収穫の際は、できた茄子を見て、「大きい」「少し硬いね」「こっちは小さいよ」と大きさや硬さを手で触り確認していた。給食で提供された際は、「おいしい」「さっきは硬かったけど、ごはんだと柔らかい」と調理されて、茄子の変化に気づいていた。



5 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・普段、食事で口にしている食材ということもあり、児らの興味や関心が強かったように感じた。また、種や苗が生長して野菜に成るというイメージを各々がしっかりと持つことができていた。
- ・毎日の水やりの体験を通して、葉っぱや実が生長するところの変化を実際に目で見て感じられるところがとても良かったと思う。